

参加
無料

〈あきぎん〉資産運用セミナー

資産をしっかりとつくるために 投資の本質を学ぼう

～日本株式市場の変化とは？～

2024年2月3日(土)

🕒 13:30～15:00 📍 秋田アトリオン地下1階多目的ホール

講師

ひふみ M&W

レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役会長兼社長
ひふみシリーズ 最高投資責任者 (CIO)

藤野 英人

野村投資顧問（現：野村アセットマネジメント）、ジャーディン・フレミング（現：JPモルガン・アセット・マネジメント）、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントを経て、2003年レオス・キャピタルワークス創業。中小型・成長株の運用経験が長く、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持つ。投資信託「ひふみ」シリーズ最高投資責任者。YouTubeチャンネル「お金のまなびば！」など投資啓発活動にも注力する。東京理科大学上席特任教授、叡啓大学客員教授、淑徳大学地域創生学部客員教授。

＼藤野英人も出演／レオスが運営するYoutubeチャンネル



お金のまなびば!

お金や投資、経済の話について、
楽しく学んでいただける動画を配信



お申込み・お問い合わせは〈あきぎん〉HPへ!

＼定員100名／

お申込みはコチラ

<https://akitabank.jp/application/campaign/input/S0203>

申込期限：2024年1月31日(水)

迷惑メール設定している方は「@akita-bank.co.jp」のドメインを受信できるように設定してください



【投資信託の留意事項】

本セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。投資信託は預金ではなく、預金保険および投資者保護基金の対象ではありません。投資信託は、銘柄ごとに設定されたお申込手数料（最高 2.20%、消費税込み）、信託報酬（最高 2.420%、消費税込み）および信託財産留保額（最高 0.5%）等の諸経費がかかります。また、投資信託は価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品ごとに費用等およびリスクは異なりますので、最新の投資信託説明書（交付目論見書）等をよくお読みください。

■レオス・キャピタルワークスが運用する公募投資信託のリスク / 費用

■ **価格変動リスク**：国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。

■ **流動性リスク**：有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

■ **信用リスク**：有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。

■ **為替変動リスク**：外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。

■ **カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）**：当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様の負担となる費用について

■ お客様に直接ご負担いただく費用

・購入時手数料 上限 3.30%（税抜 3.00%）

※当社が直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。

・換金（解約）時手数料・信託財産留保額 ありません。

■ お客様に間接的にご負担いただく費用

・信託報酬 信託財産の純資産総額に対して上限年率 1.6280%（税抜 1.4800%）

・監査費用 信託財産の純資産総額に対して年率 0.0055%（税抜 0.005%）以内を乗じて得た額

・その他の費用 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など。これらの費用については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

■ ご注意

・上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

■レオス・キャピタルワークスより当資料のお取扱いにおけるご注意

■ 投資信託のお取引は、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動を直接の原因として損失が生じることとなるおそれがあり、基準価額の下落により元本欠損が生じる可能性があります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は、預金等や保険契約とは異なります。

■ 当資料は、当社の商品をご理解いただくための情報提供資料としてレオス・キャピタルワークスが作成したものです。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。

■ 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。

■ セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。

■ 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

作成：2023年12月



株式会社秋田銀行

登録金融機関 東北財務局長（登金）第2号

加入協会：日本証券業協会



レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号

加入協会：一般社団法人投資信託協会・一般社団法人日本投資顧問業協会